



パワードスピーカー

HK AUDIO SONAR 110Xi /112Xi /115Xi

取扱説明書

HK AUDIO 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。



安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 必ず AC100V(50Hz/60Hz) の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となります。また、電源コードは他の機器には使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物を乗せたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら、ただちに使用を中止して販売店に交換をご依頼ください。
- 確実にアース接続をしてください。また、アース線の着脱は電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因となります。
- 水に入れたり、濡らさないでください。また、水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源コードをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
- 長時間使用しない時や落雷の恐れがある時は、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。また、雷が鳴り出したら金属部分や電源プラグには触れないでください。

注意

- 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。
- 事前に機器の重量を確認し、けがをしないように持ち運びや設置を行ってください。
- 斜面や不安定な場所に設置しないでください。転倒 / 落下によるけがや故障の原因となります。また、滑りやすい面に置くと音の出力エネルギーによってスピーカーが動いてしまう恐れがあります。ゴムマットを下に敷くなどの滑り止め対策を施してください。

■以下のような場所に設置しないでください。火災や故障の原因となります。

- ・直射日光のあたる場所
- ・温度の特に高い場所、または低い場所
- ・湿気の多い場所
- ・ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所
- ・塩害や腐食性ガスが発生する場所

■通気性の良い場所に設置し、通気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。

■機器の移動は、電源コードや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。接続したまま移動すると、けがや故障、ケーブル破損の原因となります。

■配線は、全ての機器をコンセントから抜き、取扱説明書に従って正しく行ってください。接続したまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。

■濡れた手で、電源コードや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

■電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。また、機器の電源を ON にする時は、スピーカーの破損を防ぐために一番最後に本機の電源を入れてください。電源を OFF にする時は、一番最初に電源を切ってください。

■大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。

■過大入力を加えないでください。また、長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。

Bluetooth に関する注意

■本機の Bluetooth 接続による通信可能距離は、Bluetooth バージョン 5.0 対応機器で最大 40m、Bluetooth バージョン 4 以前の機器で最大 10m です。

Bluetooth 端末の通信能力、周囲の環境などの要因により、通信距離が変わります。また、Bluetooth 端末が圏外に移動したり、信号が妨げられる状態になると音切れが生じることもありますのでご注意ください。

■本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本機を分解 / 改造すること。
- ・本機に貼ってある証明番号が印刷されたラベルを剥がすこと。

梱包内容の確認

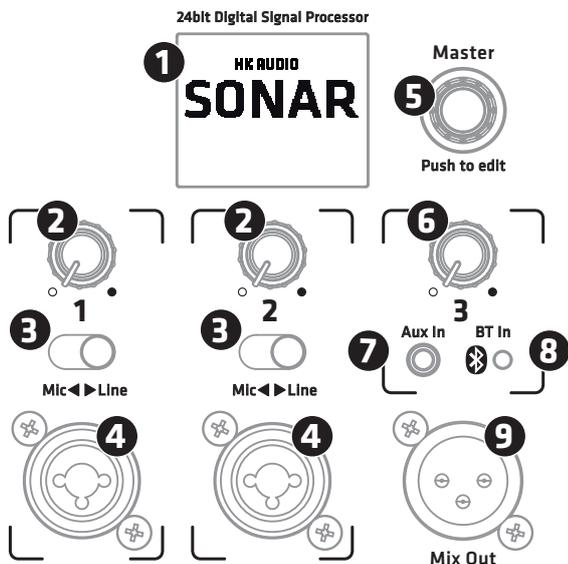
パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- 本体
- 電源ケーブル
- 当取扱説明書

目次

安全上のご注意	2
Bluetooth に関する注意	3
梱包内容の確認	4
1. 各部の機能と名称	5
2. DSP メニュー	9
3. Bluetooth	16
4. SONAR REMOTE アプリ	19
5. 製品仕様	23
6. 保証について	24

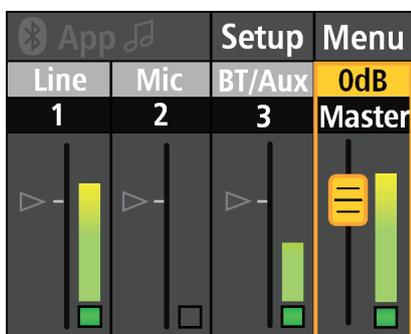
1. 各部の機能と名称



① ディスプレイ

各入力チャンネルの信号レベルと出力レベルを表示します。

左上の Bluetooth アイコンは Bluetooth 接続状態を示し、右上の Menu アイコンからは DSP 機能にアクセスすることができます。



② チャンネル 1/2 ボリューム

入力チャンネル 1 及び 2 の音量を調整するつまみです。左一杯の位置に絞ると無音になり、右一杯に回すと最大音量になります。

DSP メニューから各チャンネルのハイパスフィルターを含む 3 バンド EQ を操作できます。詳しくは 10 ページ「3 バンド EQ の操作」をご覧ください。

③ チャンネル 1/2 感度切替スイッチ (Mic/Line)

プリアンプの感度とインピーダンスを切り替えるセレクタースイッチです。

Line ポジションは、ミキサーやキーボード、CD/MP3 プレーヤーなど、ラインレベルの機器を接続するためのものです。Mic ポジションは、ダイナミックマイクロホンの接続に使用します。

④ チャンネル 1/2 MIC/LINE 入力端子

XLR (バランス) またはフォンプラグ (バランスまたはアンバランス) どちらのケーブルも接続できるコンボタイプの入力端子です。

⑤ マスター (push to edit)

このつまみを回すとディスプレイ表示内の App → Setup → Menu → Master → 1 ~ 3ch EQ と移動でき、それぞれの位置でつまみを押すと、各項目にアクセスできます。詳しい機能、操作は9ページの「DSP メニュー」をご覧ください。

Master の位置でつまみを押すと、全体の音量調節ができます。ディスプレイには1dB刻みで-80 ~ +6dB の数値で表示されます。もう一度このつまみを押すと、他機能に移動できます。

⑥ チャンネル 3 ボリューム

AUX 入力と Bluetooth 入力の信号レベルを調整するつまみです。AUX 入力を使用しながら Bluetooth ストリーミングを行う場合は、Bluetooth 端末の音量を AUX 入力信号の音量に合わせて、2つの信号レベルのバランスを取ってください。

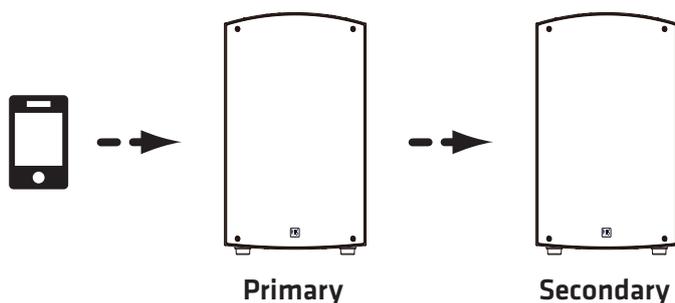
⑦ チャンネル 4 AUX 入力端子

CD/MP3 プレーヤー、スマートフォン、DJ ミキサーなどのオーディオ機器を接続する入力端子 (3.5mm ステレオミニジャック) です。

⑧ Bluetooth LED

本機とスマートフォンやタブレット、Bluetooth 対応プレーヤー等 Bluetooth 端末との接続が確立されると、この LED が点灯します。

2台の SONAR Xi 同士を Bluetooth 接続することも可能です。



Bluetooth TWS (True Wireless Stereo) について

Bluetooth 端末からのステレオ信号を 2 台の SONAR Xi に Bluetooth 伝送するモードです。

Bluetooth 端末と Bluetooth 接続した SONAR Xi をプライマリスピーカー、このプライマリスピーカーと Bluetooth 接続した SONAR Xi をセカンダリスピーカーと呼びます。

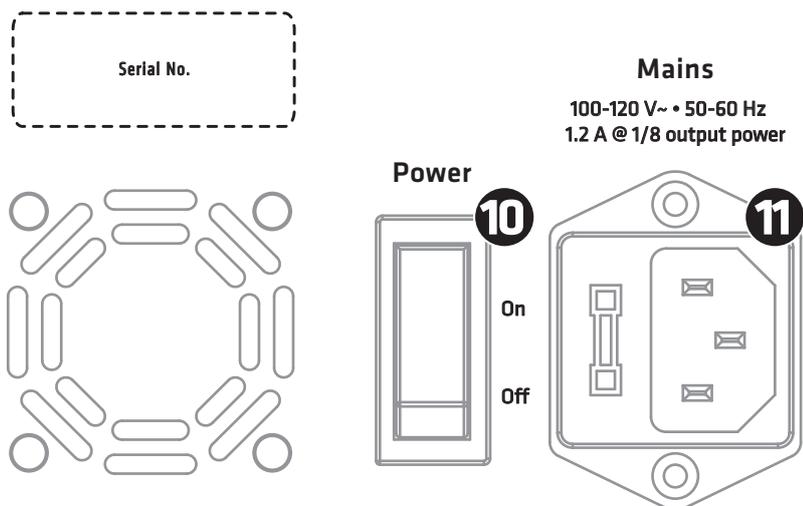
SONAR Xi と Bluetooth 端末がペアリングしている間、及び Bluetooth TWS モードでセカンダリ側がプライマリ側と接続中の間は、Bluetooth LED が点滅します。接続が確立されると点滅から点灯に変わります。

SONAR Xi が SONAR REMOTE アプリ (19 ページ参照) に接続している間は、Bluetooth LED は点滅しませんが、アプリとスピーカーの接続が確立されると点灯します。

※ Bluetooth の接続方法は、16 ページ「③ Bluetooth」をご覧ください。

⑨ ミックスアウト XLR 出力端子

全入力チャンネルがミックスされた音声信号を出力します。全てのチャンネルの EQ 設定、音量レベルが反映されます。



⑩ 電源スイッチ

電源の ON/OFF を切り替えるスイッチです。本機の電源を入れると、直近で使用した DSP 設定が読み込まれます。ディスプレイにスタート画面が表示された後、数秒で動作可能な状態になります。

※電源スイッチをオフにすると、DSP 設定が自動的に保存されます。

⑪ 電源端子

付属の電源ケーブルを接続してください。

⑫ ポールマウント（本体底面）

スピーカーの底面にあるポールマウント穴は内径 36mm です。汎用の 35mm 径スピーカースタンドにマウントすることができます。

2つのポジション切り替えが可能です。フロントポジションは 0° に設定され、リアポジションでは、スピーカーが下向きに 7.5° 傾きます。開口部の後ろにある 2つのボタンを押すとロックが解除され、チルト角度の調整が可能になります。ポジションを確定すると再度ロックがかかります。

⑬ M10 リギングポイント（本体上面）

本機の吊り下げ設置については、必ず音響工事施工業者、設備設置業者に依頼してください。

2. DSPメニュー

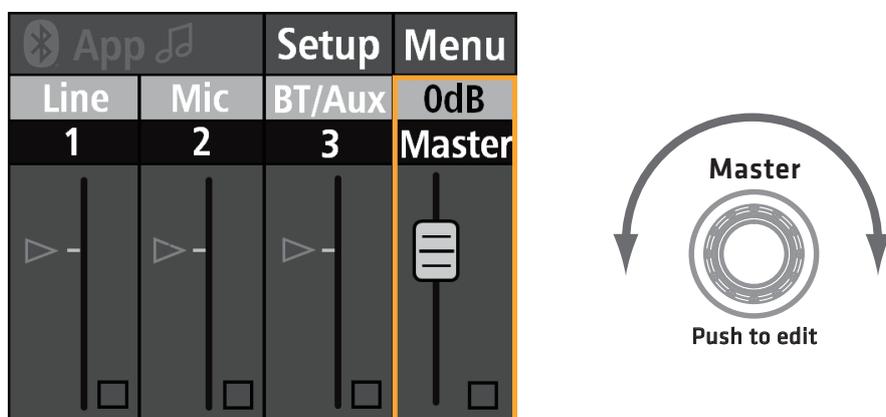
マスターつまみの操作で、各チャンネル設定やその他の DSP パラメータ、Bluetooth 接続にアクセスできます。

マスターつまみを回して、チャンネルまたはメニューを選択します。

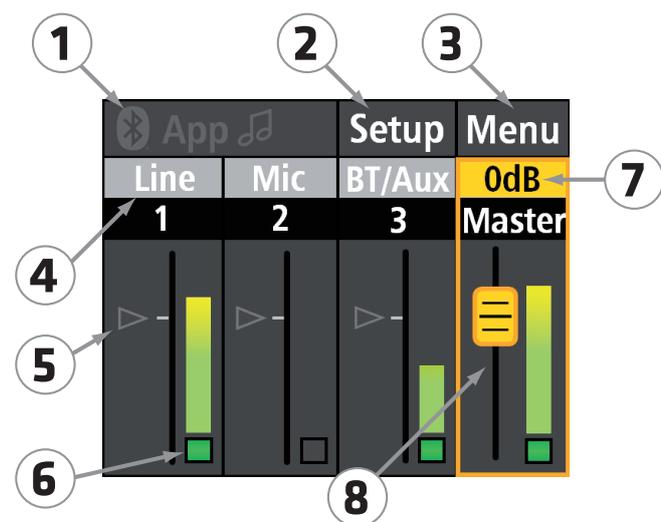
現在選択されているチャンネルやメニューは、オレンジ色で表示されます。

選択したメニューがオレンジ色に表示され、その位置でマスターつまみを押すと、選択した項目の操作、調整ができるようになります。

各メニュー内の左向きの矢印を位置に合わせてマスターつまみを押すと、トップ画面に戻ります。また約 8 秒間、操作をしない場合にもトップ画面に戻ります。



①メニュー構成



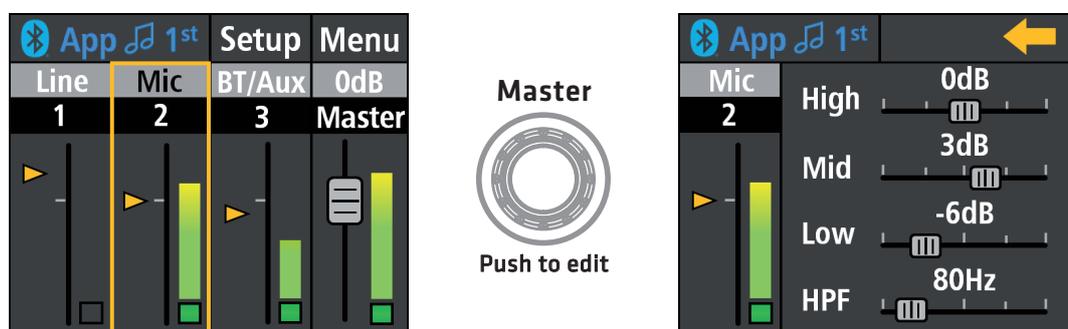
① Bluetooth 設定へのアクセス、及び Bluetooth 接続の状態を示します。Bluetooth 端末と接続しているときは、Bluetooth のアイコンがブルーに変わります。

- ② セットアップオプションにアクセスします。(14 ページ)
- ③ メニューオプションにアクセスします。(13 ページ)
- ④ チャンネル 1/ 2 の状態を表示します。この画面では、感度切替スイッチにより、チャンネル 1 が Line、チャンネル 2 が Mic に設定されています。
- ⑤ SONAR REMOTE アプリ (19 ページ参照) で設定したボリュームフェーダーの位置を示しています。この画面では Bluetooth がオフで SONAR REMOTE アプリが接続されていないため、三角形はグレイアウトして 0dB の位置に配置されています。
- ⑥ 過大入力を警告するインジケータです。
- ⑦ 全体の音量レベルを表示します。
- ⑧ マスターつまみを押すと、このフェーダーノブアイコンがオレンジ色に変わります。この画面では、全体の音量レベルが調節できる状態になっていることを示しています。

各チャンネルのレベルメーターにより、入力されている信号レベルを視認することができます。また、レベルメーターの下にある過大入力警告インジケータは、通常時には緑色、過大入力の際は赤色に点灯します。

赤色に点灯している場合は、接続機器の出力レベルを下げてください。

② 3 バンド EQ の操作



本機はチャンネルごとに 3 バンド EQ を備えており、入力信号の音質調整が可能です。また、SONAR REMOTE アプリ (19 ページ参照) からでも操作できます。

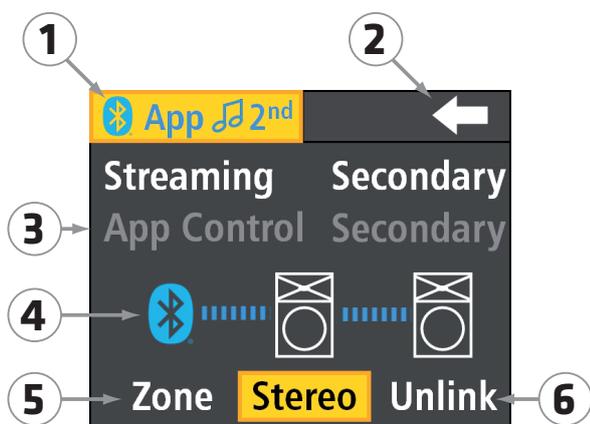
1. マスターつまみでチャンネルを選択します。この画面ではチャンネル 2 を選択しています。
2. マスターつまみを 1 回押すと、このチャンネルの EQ 設定画面に変わります。
3. マスターつまみを回し、ハイ、ミッド、ローそれぞれを選択した状態でマスターつまみを 1 回押すと、音質調整ができます。ブーストさせたいときは右に、カットさせたい場合は左に、マスターつまみを回してください。

チャンネル 1、2 には HPF（ハイパスフィルター）機能を備えており、不要な低域をカットすることができます。

Channel 1 and 2 EQ parameters		
High	+/- 12 dB	7500 Hz, High Shelf
Mid	+/- 12 dB	2500 Hz, Peaking Filter
Low	+/- 12 dB	100 Hz, Peaking Filter
HPF	20 – 400 Hz	Butterworth
Channel 3 EQ parameters		
High	+/- 12 dB	8000 Hz, High Shelf
Mid	+/- 12 dB	2800 Hz, Peaking Filter
Low	+/- 12 dB	80 Hz, Peaking Filter

※この EQ で設定した音質は、スピーカーからの出力音に加え、ミックスアウト XLR 出力端子からの信号にも反映されます。また、Ext.Sub モードをオンにすると（14 ページ参照）、この EQ はバイパスされます。

③ オーディオストリーミングとアプリを有効にした Bluetooth 設定



① Bluetooth オーディオストリーミングとアプリコントロールが接続されていることを示します。この画面は、Bluetooth TWS で接続された 2 台の SONAR Xi のうち、セカンダリスピーカー側の表示です。

② このページを終了し、メイン画面に戻ります。

③ グレーで表示されているときは、現在この機能が使用できないことを意味します。

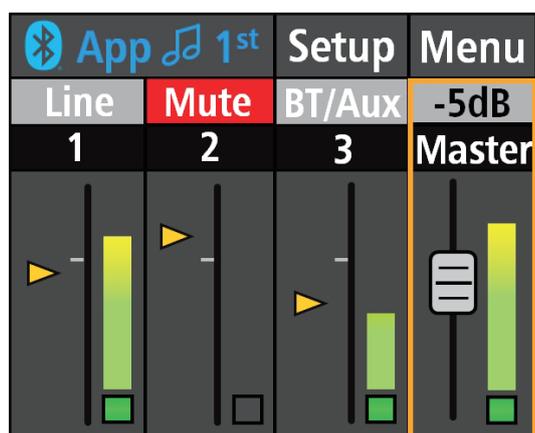
④ Bluetooth 接続が確立されているとき、このアイコンがブルーに点灯します。

⑤ Zone 2台の SONAR Xi をモノラル接続します。

⑥ Unlink SONAR Xi の TWS 接続を切断します。切断した場合、アプリは2台目の SONAR Xi を操作できなくなります。

※当画面に表示される機能、接続方法について、詳しくは16ページ「③ Bluetooth」をご覧ください。

④ メニュー機能



① マスター

マスターつまみを、この画面と同様に Master の位置に合わせて一回押すと、フェーダーノブアイコンがオレンジ色に変わり、全体の音量を調整できるようになります。

② レベルメーター

各チャンネルにレベルメーターと過大入力警告インジケーターがあります。

各チャンネルのレベルメーターにより、入力されている信号レベルを視認することができます。また、レベルメーターの下にある過大入力警告インジケーターは、通常時には緑色、過大入力の際は赤色に点灯します。赤色に点灯している場合は、接続機器の出力レベルを下げてください。

③ アプリのレベルインジケーター

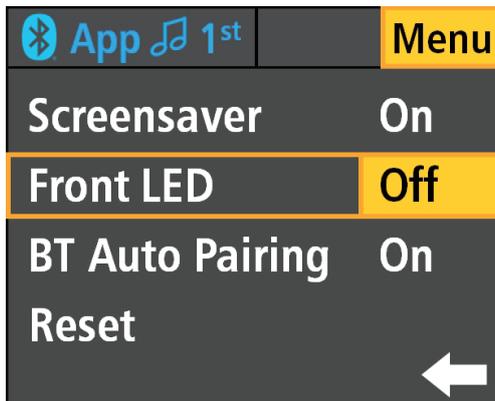
レベルメーターの左脇にある小さな三角形は、SONAR REMOTE アプリ（19 ページ参照）でのボリュームフェーダーの位置と連動しています。SONAR REMOTE アプリが接続されている場合は、この三角形は黄色に点灯します。

④ ミュート

レベルメーターの上にあるインジケーターです。SONAR REMOTE アプリからミュート操作した場合、このインジケーターが赤く点灯します。この画面ではチャンネル2がミュートされていることを示しています。

※本機側ではミュート操作はできません。

⑤メニューオプション



マスターつまみを回し、Menu の位置に合わせて、マスターつまみを押してアクセスします。左向き矢印の位置でマスターつまみを押すとトップ画面に戻ります。

① スクリーンセーバー

Screensaver を ON に設定すると、約 10 秒後にディスプレイが暗くなります。本機もしくは SONAR REMOTE アプリのコントロール機能を実行すると、ディスプレイは自動的に復帰点灯します。

② フロント LED

Front LED を ON に設定すると、本機前面の LED が白く点灯し、本機に電源が供給されていることを示します。Off に設定すると、前面の LED は点灯しません。

Limit に設定すると、過大入力を抑えるリミッターが作動したときに前面の LED が赤く点灯します。その際は本機及び接続している機器の音量を下げてください。

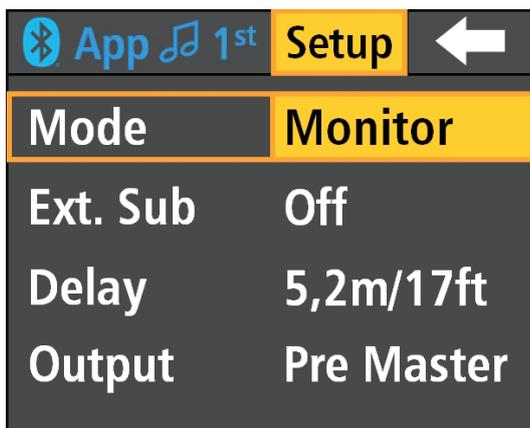
③ BT オートペアリング

2 台の SONAR Xi を Bluetooth TWS 接続する際に便利です。BT Auto Pairing を ON に設定すると、Bluetooth 設定を起動したときにプライマリ SONAR Xi がセカンダリ SONAR Xi を自動的に検出し、Bluetooth TWS リンクを確立します。

④ リセット

本機を工場出荷時の初期設定に戻りたいときは、Reset にマスターつまみを合わせて、つまみを押します。「Reset to default settings. Are you sure?」と表示されたら、Yes につまみを合わせて 1 回押すと、リセットが完了します。

⑥ セットアップオプション



セットアップオプションの選択

マスターつまみを回し、Setup の位置に合わせて、マスターつまみを押してアクセスします。左向きの矢印の位置でマスターつまみを押すとトップ画面に戻ります。

① モード

用途に応じて 3 つのモードを選択できます。

- Live 一般的なライブ用途やあらゆる音楽の再生に適したモードです。
- DJ 低音域が増強されます。DJ プレイやエレクトロミュージックのイベント、パーティに適したモードです。
- Monitor スピーチやモニタリングに適したモードです。

② Ext.Sub

本機を単体で使用する際は、このモードをオフに設定してください。

本機とサブウーファー SONAR 115Sub D を組み合わせて使用するときは、このモードをオンに設定してください。本機の設定が自動的にサブウーファーとの組み合わせに最適化されます。

※ Ext.Sub をオンに設定すると、DSP 設定が無効になります。また、Bluetooth オーディオストリーミングやアプリによるシステムのリモートコントロールも使用できなくなりますので、このモードは、外部ミキサーの使用を前提としたイベント、ライブでお使いください。

※このモードの操作は、本体からのみ可能です。SONAR REMOTE アプリでは操作できません。

③ディレイ

本機を PA システムのディレイラインスピーカーとして使うことができます。

PA システムのメインスピーカーと本機の距離をメートル単位で測り、つまみを回してその数値を設定します。メインスピーカーの遅延を自動的に計算し、適切なディレイ信号を出力します。距離は 0 ～ 10m の間で設定可能です。

⑤アウトプット

マスターボリュームで設定した音量を、Mix Out 端子から出力する信号と同期させるかどうかを設定します。

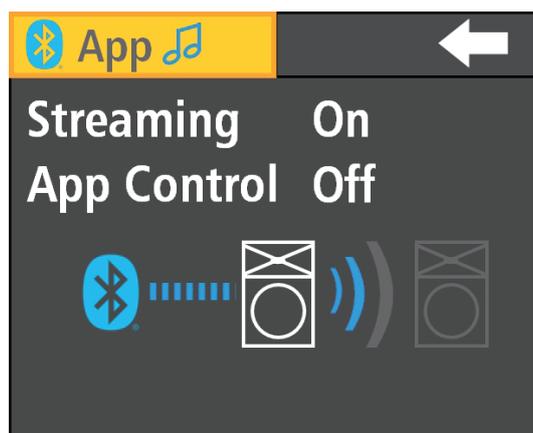
本機の音量と Mix Out 出力の音量を同期させる場合は Post Master を選択します。

モニターとして使用するなど、本機と Mix Out 出力の音量を別々に設定したい場合は、Pre Master を選択します。

3. Bluetooth

本機は、スマートフォンやタブレット、Bluetooth 対応プレーヤーなどと Bluetooth で接続することで、音声データをワイヤレスで再生できます。

また、Bluetooth TWS (True Wireless Stereo) により、2 台の SONAR Xi をステレオシステムとしてペアリングし、ステレオ再生することも可能です。



Bluetooth セッティング

マスターつまみを回し、Bluetooth マークの位置に合わせて、マスターつまみを押して Bluetooth 設定画面を開きます。

① ストリーミング

スマートフォンや携帯音楽プレーヤーなどの Bluetooth 端末から、ワイヤレスで音楽を取り込む「ストリーミングオーディオ」の設定ができます。

本機と Bluetooth 端末を接続するには、以下の手順で行います。

1. Bluetooth 設定画面から、マスターつまみを回して Streaming の位置に合わせて、マスターつまみを一度押します。さらにマスターつまみを回して On を選択し、マスターつまみを押すと、ペアリングが開始されます。
2. Bluetooth 端末側の Bluetooth 機器リストを開き、” SONAR Xi” を選択します。
3. ペアリングが完了すると、Bluetooth の青い LED が点灯します。SONAR Xi のディスプレイには、Bluetooth アイコンと 2 つの音符のアイコンが青色で表示されます。
4. Bluetooth 端末側の音量を上げておき、本機側はチャンネル 3 のつまみで音量を調整します。

※注意

- ・ Bluetooth 接続による通信可能な距離は、Bluetooth バージョン 5.0 対応機器で最大 40m、Bluetooth バージョン 4 以前の機器で最大 10m となります。ただし Bluetooth 機器の通信能力、環境によって異なります。
- ・ Bluetooth 端末の品質、周囲の環境などの要因により、通信距離が変動します。また、Bluetooth 端末が圏外に移動したり、信号が妨げられる状態になると音切れが生じることもあります。
- ・ Bluetooth 接続時は、Bluetooth 端末の通知音、着信音、システム音等が再生されることがあります。オーディオ再生時には、Bluetooth 端末のこれらの機能を無効にしてください。

② アプリコントロール

お手持ちのスマートフォンに SONAR REMOTE アプリをダウンロードし、Bluetooth 接続すると、アプリから本機の音量、音質等のコントロールができます。

※ 1つのスマートフォンで音楽をストリーミングしながら、別途 SONAR REMOTE アプリを起動してコントロールすることができます。また、音楽ストリーミング、SONAR REMOTE アプリがそれぞれ異なる Bluetooth 端末となる場合でも、両方の Bluetooth 信号を同時に処理することができます。

※詳細は、19 ページ「SONAR REMOTE アプリ」をご覧ください。

③ リンク

2台の SONAR Xi をリンクさせます。1台目の SONAR Xi が Bluetooth 端末とペアリングされている場合に有効となる機能です。



リンクの手順は以下の通りです。

1. Bluetooth 端末に接続済の SONAR Xi の Bluetooth 設定画面を開きます。
2. マスターつまみを回して "Link" を選択し、マスターつまみを 1 回押します。これにより、2 台目の SONAR Xi の検索が開始されます。

3. 2台目の SONAR Xi の Bluetooth 設定画面を開き、"Streaming" を選択した後、マスターつまみを 1 回押します。
 4. マスターつまみを回して "Secondary" を選択し、マスターつまみを押すと、1 台目の SONAR Xi とのペアリングを開始します。
 5. 2つのスピーカーがペアリングされると、両方の SONAR Xi の青い Bluetooth LED が点灯します。SONAR Xi のディスプレイには、Bluetooth アイコン、2つの音符のアイコン、およびプライマリ側の「1st」、セカンダリ側の「2nd」アイコンが青色で表示されます。
- ※ SONAR REMOTE アプリは、チャンネル 3 のボリュームフェーダーと EQ を共有し、2 台の SONAR Xi をコントロールするマスターフェーダーも連動します。

④ ステレオ

2 台の SONAR Xi をステレオで接続するには、Stereo を選択します。Bluetooth 端末からのオーディオ信号がステレオで受信されます。左の信号はプライマリ SONAR Xi に、右の信号はセカンダリ SONAR Xi に送られます。

※ステレオモードの時は、2 台の SONAR Xi のマスターボリュームはメニューオプションと同様に連動します。

※入力チャンネル 1 と 2 の信号は、ステレオでリンクされません。

⑤ ゾーン

Zone モードを選択した場合、2 台の SONAR Xi はそれぞれ個別にコントロールすることが可能です。Bluetooth 端末からのオーディオ信号は、プライマリ SONAR Xi とセカンダリ SONAR Xi、いずれもモノラルで受信されます。

⑥ アンリンク

Unlink は、SONAR Xi 同士の Bluetooth リンクを切断します。1 台目の SONAR Xi は、Bluetooth 端末との接続を維持します。

4. SONAR REMOTE アプリ



スマートフォンやタブレットに SONAR REMOTE アプリをダウンロードして、SONAR Xi と Bluetooth 接続することにより、最大 2 台の SONAR Xi を手元からリモートコントロールすることができます。

SONAR REMOTE アプリは、本機背面にある「Get The App !」ステッカーの QR コード、または以下のリンクよりアクセスしてダウンロードしてください。

<https://apps.apple.com/gb/app/sonar-remote/id1537060241>

※ iOS 用

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.czmiracle.trxiii2&gl=US>

※ アンドロイド用

① 本機とアプリ端末の接続

以下の手順で行います。

※ ワイヤレス再生と SONAR REMOTE アプリ操作を、同じ端末で行う場合でも、それぞれ別々に Bluetooth 接続作業を行う必要があります。

1. Bluetooth 設定画面から、マスターつまみを回して App Control の位置に合わせ、マスターつまみを一度押します。さらにマスターつまみを回して On を選択し、マスターつまみを押します。
2. アプリ端末側の Bluetooth 機器リストを開き、'SONAR Xi' を選択します。
3. アプリ端末側で SONAR REMOTE アプリを起動し、接続が完了すると、アプリ画面の Bluetooth マークが青色に変わります。SONAR Xi のディスプレイは、Bluetooth アイコンと「App」マークが青色に表示されます。

② 2 台目の SONAR Xi を接続する

2 台の SONAR Xi をアプリでコントロールするためには、アプリ端末をプライマリ SONAR Xi に、プライマリ SONAR Xi をセカンダリ SONAR Xi に接続する必要があります。また、プライマリ SONAR Xi の App Control と Streaming を「オン」に、セカンダリ SONAR Xi の App Control を「セカンダリ」に設定してください。

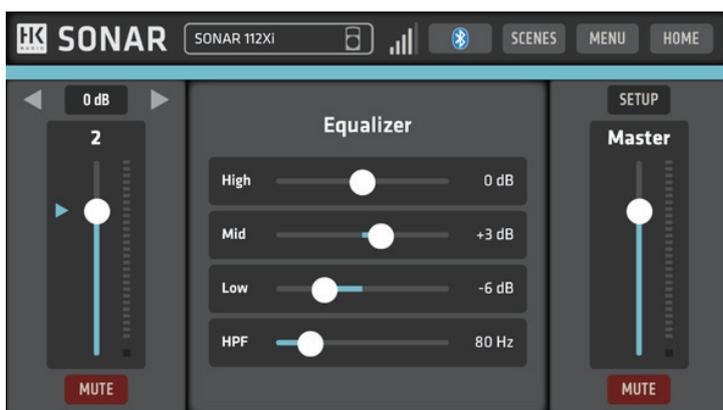
③ SONAR REMOTE アプリの操作

1. ホーム

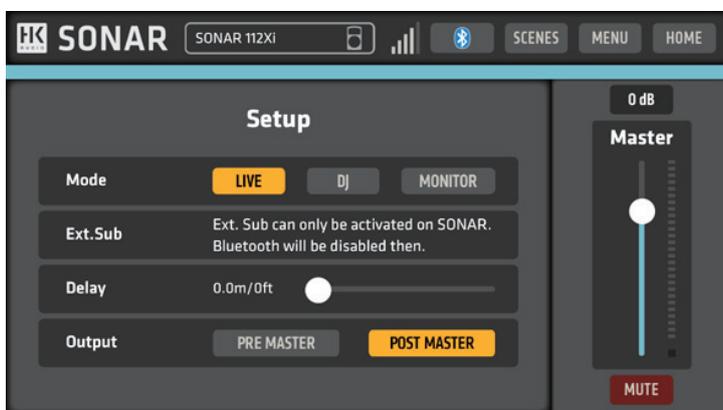
ホーム画面では、各チャンネルとマスターの音量調整と、ミュートを操作できます。



各チャンネルフェーダー上部の“EDIT”からは、3バンドEQの操作画面にアクセスできます。10ページ「②3バンドEQの操作」をご覧ください。



Master フェーダー上部の "SETUP" からは、14 ページ「⑥セットアップオプション」の設定をアプリで操作できます。



2. シーン

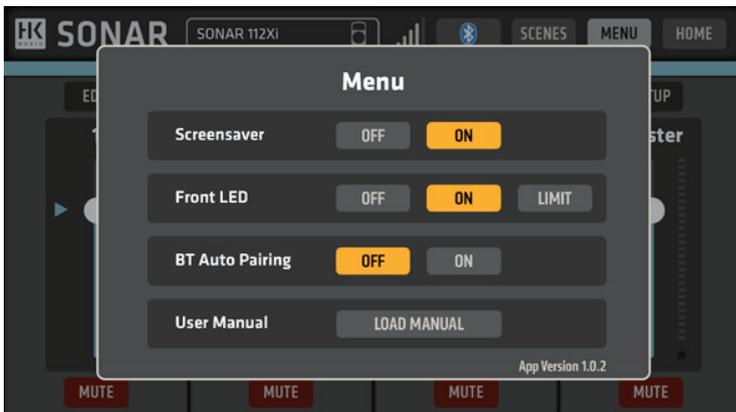
SCENES は、各設定の保存と読み込みに使用します。現在の設定を保存したいときには、1～9の数字をタップし、SAVE をタップしてください。アプリ側でシーンを保存し、名前を設定することができます。

設定したシーンをタップしてから、LOAD をタップすると、その設定を呼び出して反映することができます。

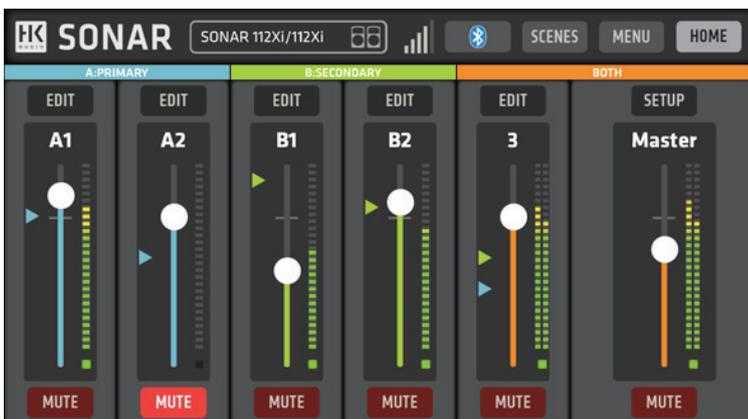


3. メニュー

MENU からは、13 ページ「**5**メニューオプション」の設定をアプリで操作できます。



4. SONAR Xi 2 台をステレオモードで使用する際のホーム画面



5. SONAR Xi 2 台をゾーンモードで使用する際のホーム画面



※注意

- ・ SONAR REMOTE アプリで調整した設定は、SONAR Xi 本体側のディスプレイにも表示されます。それぞれリアルタイムで同期しています。
- ・ SONAR REMOTE アプリは、オーディオ信号そのものを処理するものではありません。SONAR Xi の 24bit オーディオコントローラーの DSP 機能を制御するのみとなります。

5. 製品仕様

Model	SONAR 110 Xi	SONAR 112 Xi	SONAR 115 Xi
最大音圧レベル (ピーク @ 10 % THD)	123 dB ハーフスペース	127 dB ハーフスペース	130 dB ハーフスペース
最大音圧レベル (計算値)	126 dB ハーフスペース	130 dB ハーフスペース	133 dB ハーフスペース
周波数レスポンス +/- 3 dB	64 Hz - 18 kHz	58 Hz - 18 kHz	56 Hz - 18 kHz
周波数レスポンス -10 dB	59 Hz - 20 kHz	54 Hz - 20 kHz	50 Hz - 20 kHz
アンプ出力 (ピーク)	800 W	1200 W	1200 W
アンプタイプ	Class AB + D	Class AB + D	Class AB + D
アクティブ保護回路	熱及び過負荷保護, ピーク +RMS リミッター	熱及び過負荷保護, ピーク +RMS リミッター	熱及び過負荷保護, ピーク +RMS リミッター
Low-/mid スピーカー	1x 10" , 2" ボイスコイル	1x 12" , 2.5" ボイスコイル	1x 15" , 2.5" ボイスコイル
HF ドライバー	1" , 1" ボイスコイル	1" , 1.35" ボイスコイル	1" , 1.35" ボイスコイル
ホーン指向性	90° x 60°	90° x 60°	90° x 60°
ディスプレイ	1.83" カラーディスプレイ	1.83" カラーディスプレイ	1.83" カラーディスプレイ
アナログ入力	2x XLR コンボジャック, 1x 3.5 mm ステレオジャック	2x XLR コンボジャック, 1x 3.5 mm ステレオジャック	2x XLR コンボジャック, 1x 3.5 mm ステレオジャック
アナログ出力	1x Mix Out (XLR バランス)	1x Mix Out (XLR バランス)	1x Mix (XLR バランス)
感度切替スイッチ	2x Mic/Line	2x Mic/Line	2x Mic/Line
サウンドモード	Live/DJ/Monitor	Live/DJ/Monitor	Live/DJ/Monitor
Bluetooth バージョン	5	5	5
Bluetooth 機能	オーディオストリーミング, TWS	オーディオストリーミング, TWS	オーディオストリーミング, TWS
リモートアプリ	iOS + Android	iOS + Android	iOS + Android
ダイレイ	0-10 m	0-10 m	0-10 m
消費電流	0.8 A / 100-120 V AC	1.2 A / 100-120 V AC	1.2 A / 100-120 V AC
モニターアングル	35°	35°	35°
ポールマウント	35 mm, チルト (0° /-7.5°)	35 mm, チルト (0° /-7.5°)	35 mm, チルト (0° /-7.5°)
リギングポイント	3x M10	3x M10	3x M10
エンクロージャー	プラスチック	プラスチック	プラスチック
フィニッシュ	ブラック	ブラック	ブラック
フロントグリル	メタル	メタル	メタル
寸法 (WxHxD)	31 x 53.5 x 30 cm	36.5 x 62.9 x 35.5 cm	42.5 x 72.9 x 41.5 cm
質量	11.5 kg	15.9 kg	19.5 kg

6. 製品保証について

当製品の保証期間はご購入後3年間です。

HK AUDIO の web サイトにてオンラインユーザー登録を行うことによって、2年の延長保証を付与いたします。合計5年の保証期間となります。

以下 URL よりご登録手続きください。

<https://hkaudio.com/warranty-registration/>

保証登録は、ご購入日から30日以内に行われた場合のみ有効です。

HK AUDIO 保証規定

当説明書の記載に基づき、正常な操作を行い、通常状況の使用時に発生した故障について、保証修理対応いたします。

なお、下記に該当する場合は、保証規定対象外として有償修理対応となります。

- ・ 消耗部品（スピーカーユニット、ツイーターユニット、ヒューズ等）の交換が必要になる場合
- ・ 不適切な取り扱いや、異常電圧、過大入力、過大音量が原因で生じた故障（スピーカーユニット、ツイーターユニットの焼損、破損を含みます）
- ・ 弊社以外での修理や、改造がなされている場合
- ・ 落下や転倒等による外部衝撃及天災が原因となる故障
- ・ 液体等の異物が製品に流入、付着したことが原因となる故障
- ・ その他、メーカー判断により保証対象外とみなされる原因による場合

当保証は新品購入のファーストユーザー様のみ適応となります。製品を譲渡された場合、保証を引き継ぐことは出来ません。

保証修理の際には、当取扱説明書及びご購入履歴が必要となります。

ご購入時の確認メール、納品書は大切に保管ください。

使用方法、故障などでお困りの際は、以下の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

ヒビノ株式会社 カスタマーサポート

TEL：03-5419-1550 メール：marketing@hibino.co.jp

※受付時間：月～金曜日 9:30～18:00(祝祭日及び弊社指定休日を除く)

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノ株式会社 EC事業統括部

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70

TEL: 03-5419-1550 FAX: 03-5419-1565

<https://www.hibino.co.jp/> E-mail: fullten@hibino.co.jp